Panic

mumo

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Panic

【コード】

N06280

【作者名】

mumo

【あらすじ】

とある学校に不審者が侵入。

学校から脱出は不可能。

逃げることに夢中な生徒、先生たち。

一人、また一人と消えていく中で

助かることはできるのだろうか・・・。

始まる悪夢

体育館

京「体育ってやっぱりおもしろいよなー。」

蓮「だよなー。でもなー……。」

京「ん？どうした？」

蓮「だってさー……。」

理科室

瑠璃^{るり}「ねえ、理科っておもしろくない。」

香奈^{かな}「えー？面白いじゃん！」

瑠璃「別につまなくなはないんだけど……。」

香奈「ん？」

瑠璃「だって……。」

保健室

介^{かい}「もう具合よくなりました。」

佐藤先生^{さとうせんせい}「ああ、大丈夫？」

介「はい。」

佐藤先生「お大事に。」

介「でも、もうちょっといいですか？」

佐藤先生「なんで？」

介「なんかいやな予感がする……。気のせいかな？」

佐藤先生「さあ……。」

シリリリリリリリ

たなか せんせい

田中先生「不審者が校内に乱入しました！防火シャッターを閉じます！今すぐ脱出して」

ズダダダ

といったところでマイクの奥から銃声が聞こえた。

田中先生「不審者は銃を持っている様子です！今すぐ避難し

」

ガチャ！

マイクの落ちる音が聞こえた。

ズダダダダダ

不審者が乱射しているような音が聞こえた。

ガチャ

不審者「みなさん、こんにちは。これからあなたたちを殺しにいきます。」

明らかに異常な感じがした。

始まる悪夢（後書き）

どうも、13歳、mumoです。

初作品なんですけど・・・

どうでしょうか・・・。

アドバイスがあったら教えてください！

これからもよろしく願います！

新人への期待（前書き）

すみません。

前の回の「避難」の文字が「非難」になっていました。もう変更したので見ることはできません！。見なくていいか・・・。

あともう一つ・・・。

更新遅れました。すみません。

新人への期待

体育館

蓮「なんか・・・やばくね・・・？」

京「これはマジだぞ・・・」

さわぐ体育館で二人は余計あせつた。

佐藤「みんな！静かに！廊下に出ると危ないかもしれない・・・。
だからここは別れて行動しよう！
すぐに3、4人のグループ

に別れて！」

蓮「よし京、一緒に逃げようA！」

京「わかった！」

羅奈「すみません・・・」

蓮「どうした？」

羅奈「一緒に逃げてもいいですか？」

京「いいよ。」

羅奈「ありがとうございます！」

佐藤「別れた？避難開始！くれぐれもさわがないように！」

理科室

瑠璃「やばっ！どっししよう・・・」

香奈「まず落ち着こう・・・？」

竹中「今、一緒に実験してた班を作っている人とさわがないで脱
出するんだ！」

瑠璃「どこに逃げよう・・・。防火シャッターしまってるし・・・。

「

「この学校は、何故か全部の窓、玄関に防火シャッターがある。その理由はまだ誰にもわからない・・・。」

香奈「どうしよう……」

俊「こつち！」

瑠璃・香奈「う……うん！」

体育館

蓮「くそっ！不便な学校め！」

京「落ち着こう……」

羅奈「便利な物、持ってますよ。」

カチヤ、羅奈は蓮と京に「ある物」を渡した。

蓮「け……拳銃……？」

京「なんでもってんだよ！」

羅奈「父が警官なんです。だから一応持ってきたんです。」

蓮「まあ……犯人がもし来たら少しはいいかな……」

その時、銃声が聞こえた。

蓮「わっ！」

羅奈「結構近いですね。」

京「しっ……こつちに近づいてきてる！」

コツコツとくつ音がだんだん近づいてきた。

羅奈「あわてないで！通り抜けるから。」

音楽室

俊「ここだと安心だ。」

瑠璃「えつとさ……。誰？」

俊「あ……ごめん。2組の俊だ。」

香奈「え？2組？なんているの？だって、今の時間英語じゃん？」

俊「授業サボった。」

瑠璃・香奈「大丈夫かなあ……この人……。」

俊「なんか言った？」

瑠璃・香奈「いや！全然！」

香奈「つか、なんで音楽室!?!」

俊「これから^{おと}囀を作る。」

香奈「囀？」

俊「自動で音出るようなやつ作る。」

瑠璃「できるの？」

俊「楽勝。すぐできるから、そしたら体育館の倉庫に逃げるんだ！」

瑠璃・香奈「うん。」

俊はメトロノームを取り出し、BPM140にセットし

俊「逃げるんだ！」

と言った……。

瑠璃・香奈「本当に大丈夫かなあ……。」

新人への期待（後書き）

生徒名簿 3組

長内蓮

体重・・・43?

身長・・・162?

好きなもの・・・メロンパン

嫌いなもの・・・犬、ハムスター

一行ではどんな人？

この物語で主人公的存在。なぜか今のクラスに不満があるらしい・・・。

生徒名簿 1組

藤崎瑠璃

体重・・・未公開

身長・・・秘密

好きなもの・・・ケータイ小説

嫌いなもの・・・おばけ屋敷

一行でどんな人？

蓮と同じ主人公的存在。蓮と同じクラスになれなかったことに不満を抱いている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0628o/>

Panic

2010年10月10日18時08分発行